

第3章 観光客の動向（マーケティング編）

1 観光を取り巻く状況

（1）日本

我が国における観光を取り巻く状況は、平成 23 年の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により、一時的に旅行市場は停滞していたものの、徐々に活況を取り戻しつつあり、円安基調による経済情勢の変化、官民一体での訪日プロモーションやビザ要件の緩和、国際路線の拡充などにより、特にアジアからの旅行者が増加し、平成 25 年に初めて訪日外国人旅行者数が 1,000 万人を超え、平成 28 年は前年比 430 万人を上回る 2,404 万人となった。

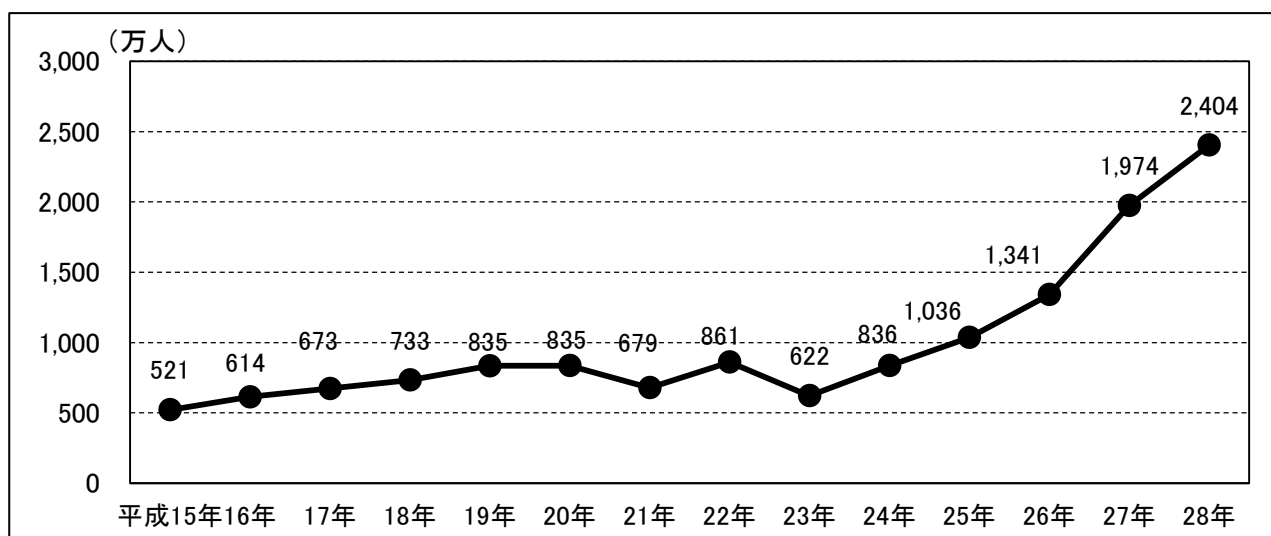


図 3-1 訪日外国人旅行者数の推移（JNTO）

このような背景を踏まえ、観光市場は急速な成長を遂げており、観光は日本の力強い経済を取り戻すための柱となる重要な分野と位置付けている。そこで、『観光先進国』への新たな国づくりに向けて、平成 28 年に『明日の日本を支える観光ビジョン構想会議』において「明日の日本を支える観光ビジョン-世界が訪れたい日本へ-」を策定した。

この「観光ビジョン」に盛り込まれた受入体制に関する施策について、訪日外国人旅行者がストレスなく、快適に観光を満喫できる環境整備に向け、政府一丸となって対応を加速化している。

【施策概要】

- ◆観光資源の魅力を見極め、地方創生の礎に
- ◆観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に
- ◆すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

(2) 台東区

台東区では、平成13年に「観光ビジョン」を策定し、地域特性を生かした観光振興資源の創出や魅力の発信とともに、観光基盤の整備などに積極的に取り組んできた。

平成22年には「新観光ビジョン」を策定、平成28年3月には「台東区観光振興計画 躍進台東2020年に向けて」を策定し、区の観光を持続的に発展させていくため、6年間の重点プランと具体的な施策を盛り込んだ。

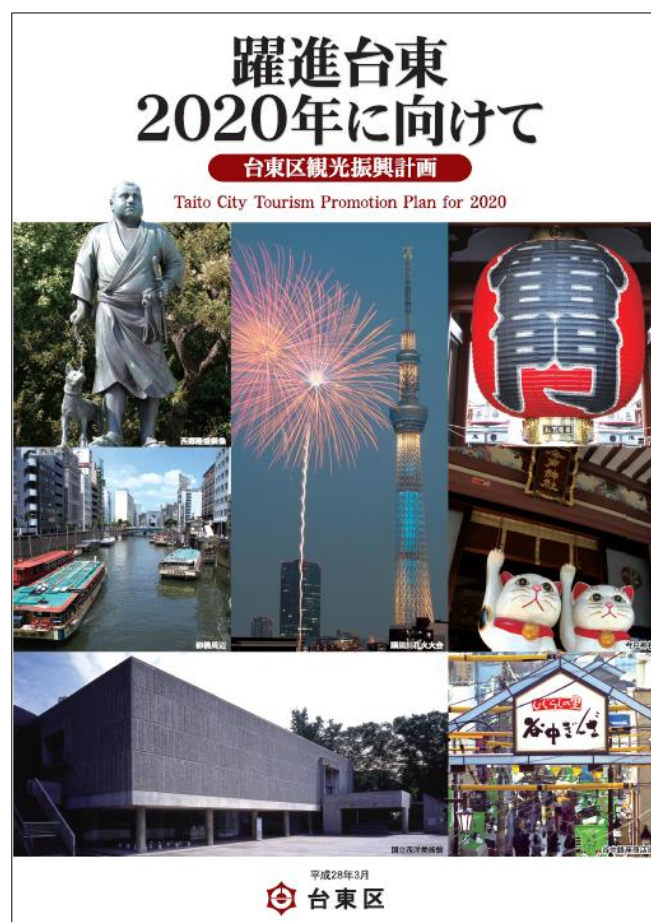


写真 台東区観光振興計画

2 来訪者の動向（考察）

（1）日本人観光客

平成 26 年の前回調査と比較すると、「平常時の観光入込客数」が、上野地区で 38 万人減、谷中地区が 59 万人増となった。また、イベント来訪者では、上野地区で 70 万人増、浅草地区で 61 万人増であった。上野地区は、うへの桜まつりに訪れた観光客数が平常時の減少分を補って増加に転じている。浅草地区は、浅草寺の初詣や三社祭などの人出が増加している。一方、谷中地区、浅草橋地区では、まち歩きなどの観光客の増加がみられ、観光客入込数が総じて増加している。

（2）外国人観光客

外国人観光客は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定や LCC（格安航空会社）路線の増加などと相まって、本区への来訪も増加傾向を示している。訪日外国人旅行者のうち一定の割合が本区へ来訪しており、主要な観光地として人気が高い。

特に、上野地区、浅草地区においては前回調査時と比較し、上野が 122 万人、浅草が 174 万人の増加と大幅な増加がみられた。

また、外国人観光客のうち、東南アジア及び欧州方面から観光客が増加している。

（3）宿泊観光客

日本人宿泊観光客及び外国人宿泊観光客は、区内宿泊施設の新規開業等に伴い、前回調査に比べて 200 万人以上増加している。上野や浅草では、区内をはじめ、都内や東京近郊の観光の拠点とする宿泊客も多いと考えられる。

3 観光消費額

(1) 調査結果

各地区の観光消費に関して、パラメータ調査により観光行動をとった来訪者について、消費項目別に消費額の合計と平均消費額を算出した。(表 3-1、表 3-2、表 3-3)

なお、観光消費額の算出にあたっては、「ゼロスペンディング＝直接消費行動を伴わない来訪者」を母数に参入している。

表 3-1 対象人数(アンケート調査において観光行動をとった来訪者) (単位:人)

	対象人数				
		飲食	買物	入場料等	その他
上野地区	198	198	198	198	198
浅草地区	135	135	135	135	135
谷中地区	87	87	87	87	87
浅草橋地区	33	33	33	33	33
計	453	453	453	453	453

表 3-2 対象者の消費額の合計 (単位:円)

	消費額				
		飲食	買物	入場料等	その他
上野地区	720,506	216,190	300,196	203,120	1,000
浅草地区	400,490	205,330	182,360	11,600	1,200
谷中地区	178,080	107,680	70,400	0	0
浅草橋地区	156,450	53,250	58,200	0	45,000
計	1,455,526	582,450	611,156	214,720	47,200

表 3-3 一人あたりの平均消費額 (単位:円/人)

	平均消費額				
		飲食	買物	入場料等	その他
上野地区	3,639	1,092	1,516	1,026	5
浅草地区	2,967	1,521	1,351	86	9
谷中地区	2,047	1,238	809	0	0
浅草橋地区	4,741	1,614	1,764	0	1,364
全地区平均	3,213	1,286	1,349	474	104

一方、アンケート調査において、1泊あたりの宿泊費について、回答者の一人あたりの平均宿泊費を日本人と外国人を区別して算出した。(表 3-4)

表 3-4 一人あたりの平均宿泊費

	総額	対象人数	平均宿泊費
日本人宿泊費	2,692,168 円	286 人	9,413 円/人
外国人宿泊費	8,601,809 円	906 人	9,494 円/人
計	11,293,977 円	1,192 人	9,475 円/人

以上の地区別・消費項目別の平均消費額・平均宿泊費に地区ごとの観光客数を乗じることで、年間の観光消費額を算出した。その上で、台東区の観光客数で割ることで、一人あたりの観光消費額を算出した。(表 3-5)

その結果、平成 28 年の台東区の一人あたりの観光消費額は、5,279 円となった。

表 3-5 年間観光消費額

		平均消費額	延べ観光客数	合計消費額
上野	飲食	1,092 円/人 ×	2,726 万人 =	298 億円
	買物	1,516 円/人 ×	2,726 万人 =	413 億円
	入場料等	1,026 円/人 ×	2,726 万人 =	280 億円
	その他	5 円/人 ×	2,726 万人 =	1 億円
浅草	飲食	1,521 円/人 ×	3,230 万人 =	491 億円
	買物	1,351 円/人 ×	3,230 万人 =	436 億円
	入場料等	86 円/人 ×	3,230 万人 =	28 億円
	その他	9 円/人 ×	3,230 万人 =	3 億円
谷中	飲食	1,238 円/人 ×	291 万人 =	36 億円
	買物	809 円/人 ×	291 万人 =	24 億円
	入場料等	0 円/人 ×	291 万人 =	0 億円
	その他	0 円/人 ×	291 万人 =	0 億円
浅草橋	飲食	1,614 円/人 ×	154 万人 =	25 億円
	買物	1,764 円/人 ×	154 万人 =	27 億円
	入場料等	0 円/人 ×	154 万人 =	0 億円
	その他	1,364 円/人 ×	154 万人 =	21 億円
宿泊	全地区	9,475 円/人 ×	622 万人 =	589 億円
観光消費額 合計				2,672 億円
台東区観光客数				5,061 万人
1人当たりの消費額		(観光消費額 合計) ÷ (台東区観光客数)		5,279 円/人

(2) 観光客の消費動向

算出した平均消費額について、前回の調査結果と比較し増減を整理した。(表 3-6)

表 3-6 前回調査結果との比較(平均消費額) 単位：円/人

		平成 28 年	平成 26 年	増減
上野	飲食	1,092	1,571	-479
	買物	1,516	1,024	492
	入場料等	1,026	709	317
	その他	5	383	-378
浅草	飲食	1,521	1,732	-211
	買物	1,351	1,667	-316
	入場料等	86	354	-268
	その他	9	105	-96
谷中	飲食	1,238	1,224	14
	買物	809	373	436
	入場料等	0	5	-5
	その他	0	38	-38
浅草橋	飲食	1,614	1,933	-319
	買物	1764	2,550	-786
	入場料等	0	159	-159
	その他	1,364	614	750
宿泊	全地区	9,475	10,084	-609
観光消費額 合計		2,672 億円	2,652 億円	20 億円
実観光客数				
1人あたりの消費額		5,279	5,888	-609

飲食の消費に関しては、全体的に減少した。特に上野地区では一人あたり 479 円の減少と減少幅が大きくなった。

また、買物の消費に関しては、全体では増加しているが、浅草地区で一人あたり 316 円の減少となった。アンケート結果によると、高額商品を避け安価な買物が増えた傾向がみられた。

入場料等の消費に関しては、上野地区で一人あたり 317 円の増加、浅草地区で一人あたり 268 円減少した。これは来訪者の滞在時間が上野地区で 30 分の増加、浅草地区で 50 分の短縮していることがその要因として考えられる。

その他の消費に関しては、アンケート回答者のほとんどが記入をしていなかったため、前回から総じて減少となった。

宿泊費に関しては、一人あたり 609 円の減少がみられた。これは、宿泊施設の稼働率の上昇に伴い、1泊あたり 10,000 円以上の比較的高額な価格帯が増えている一方、外国人観光客を中心とした安価な宿泊施設への滞在が増加したため宿泊費が微減したと推測される。

以上を総合して、一人あたりの消費額が今回 5,279 円で、前回 5,888 円より 609 円減少したが、全体の観光消費額は 20 億円のプラスとなった。プラスの要因として考えられることは、年間観光客数が約 557 万人増加していることが推測される。

なお、観光庁では、平成 28 年の一人あたりの日本人国内旅行消費額について、前年同期比で約 2.6%の減（速報値の推計）になったと報じている。

4 滞在時間

来訪者の地区ごとの平均滞在時間ならびに滞在時間3時間以上の来訪者の割合についてみる。表3-7は各地区の平均滞在時間（中央値）と前回数値との比較、表3-8は各地区の滞在時間3時間以上の割合と前回数値との比較である。

表3-7 平均滞在時間

※平均滞在時間は中央値

	平成28年		平成26年
		前回との差	
上野地区	4時間00分	+30分	3時間30分
浅草地区	2時間10分	-50分	3時間00分
谷中地区	2時間00分	-30分	2時間30分
浅草橋地区	2時間00分	+38分	1時間22分
区全体	3時間00分	0分	3時間00分

※中央値とは、全標本のうち、ちょうど真ん中の順位にある標本の数値を指す。標本数が偶数の場合は、真ん中に最も近い二つの標本の数値を足して、二で割った数値が中央値になる。

表3-8 滞在時間3時間以上の割合

	平成28年		平成26年
		前回との差	
上野地区	71.2%	+4.3%	66.9%
浅草地区	42.2%	-7.9%	50.1%
上野地区+浅草地区	59.5%	+2.3%	57.2%
区全体	53.0%	+0.9%	52.1%

アンケート調査による来訪者の平均滞在時間は、区全体で3時間となり、前回（平成26年）の調査と同様の結果だった。また、来訪者の滞在時間3時間以上の割合は53.0%だった。

5 来訪回数

来訪者へのアンケートで台東区への来訪回数を調査した結果は、次の表のとおりである。
(表 3-9)

表 3-9 台東区への来訪回数

		平成 28 年			平成 26 年	
				前回との差		
初めて		16.7%			-2.1%	
リピーター	2~4 回	83.3% (+2.1%)	29.3%	+6.4%	81.2%	22.9%
	5~9 回		18.0%	+4.0%		14.0%
	10 回以上		36.0%	-8.3%		44.3%

「初めて」と答えた人は、前回（平成 26 年）の調査と比べ 2.1%減少した。来訪回数が 2 回以上のリピーターが占める割合（リピート率）は、前回より 2.1%増えて、80%以上を維持しているが、10 回以上の多数来訪者が 8.3%減少している。

6 観光客の意識

来訪者へのアンケートで台東区の満足度、再来訪意向、紹介意向を調査した結果は、次の表のとおりである。（表 3-10）

表 3-10 満足度、再来訪意向、紹介意向の結果

目標指標	現状値		
	日本人	外国人	合計
台東区を訪れて満足した観光客の割合	54.7%	95.9%	85.6%
台東区を再び訪れたいと思う観光客の割合	81.0%	95.1%	91.6%
台東区観光を知人に勧めたいと思う観光客の割合	89.3%	93.9%	92.8%

7 来訪者の台東区の印象

来訪者へのアンケートで台東区の印象を尋ねてみると、次の表のような結果となった。

(1) 良かったこと（日本人・外国人）

日本人・外国人とも、良かったこととして、「名所・旧跡、博物館・美術館」が最も多く、続いて「食事・買い物」が上位を占め、台東区の特徴ある観光資源の豊富さや利便性が支持されていると考えられる。

※複数回答可

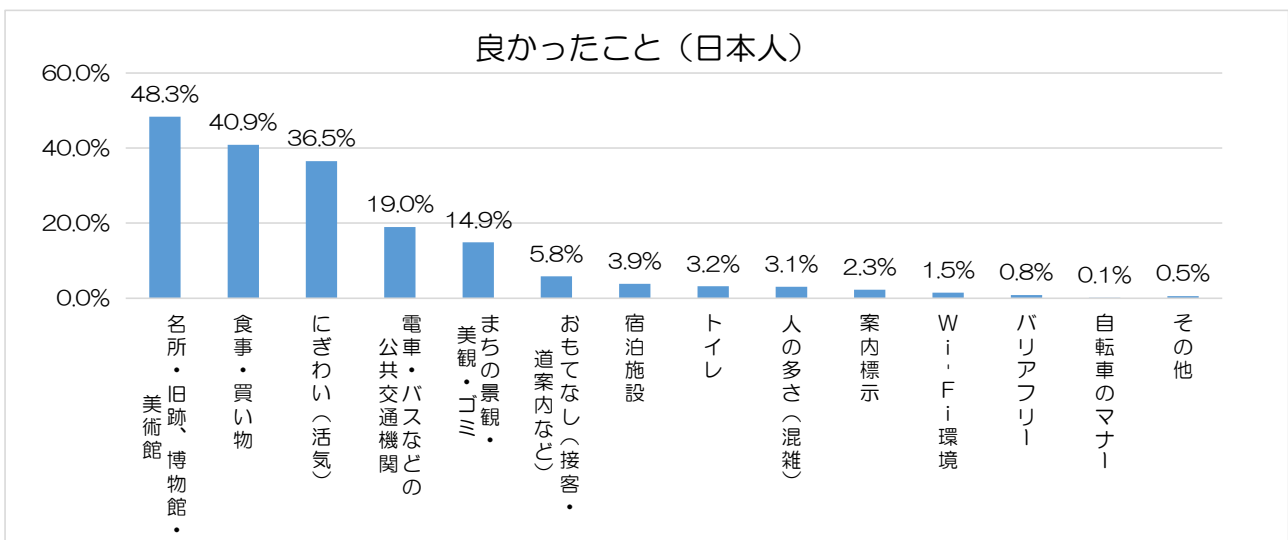


図 3-2 良かったこと（日本人）

回答数 753

※複数回答可

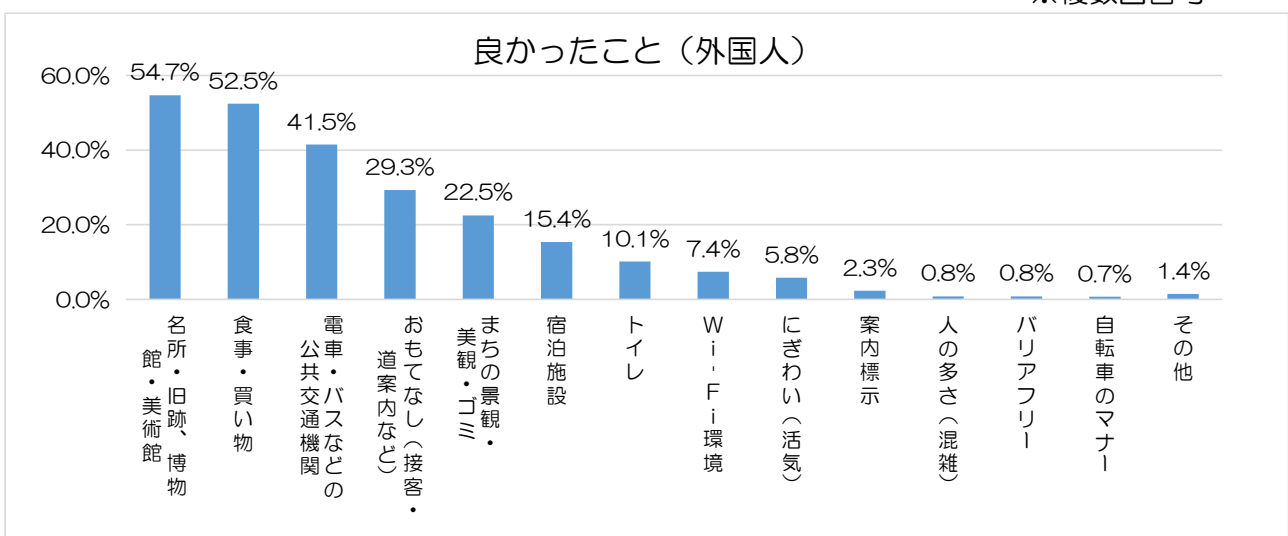


図 3-3 良かったこと（外国人）

回答数 902

(2) 残念だったこと (日本人・外国人)

残念だったこととして、日本人・外国人とも、「人の多さ (混雑)」、日本人で「トイレ」、外国人で「Wi-Fi 環境」などが指摘されている。

※複数回答可

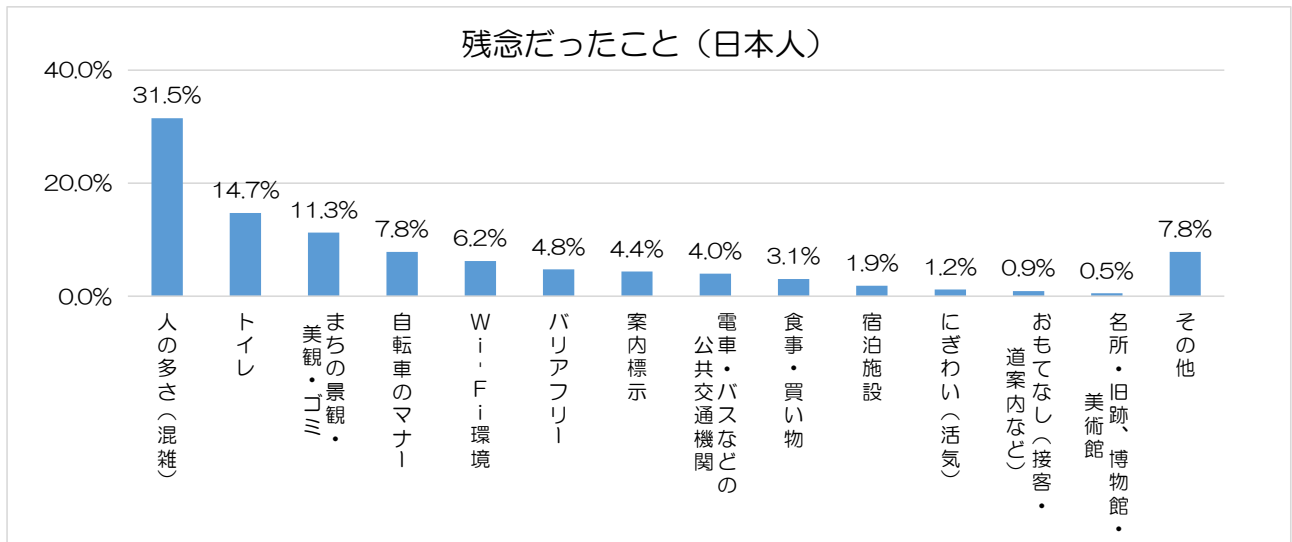


図3-4 残念だったこと (日本人)

回答数 753

※複数回答可

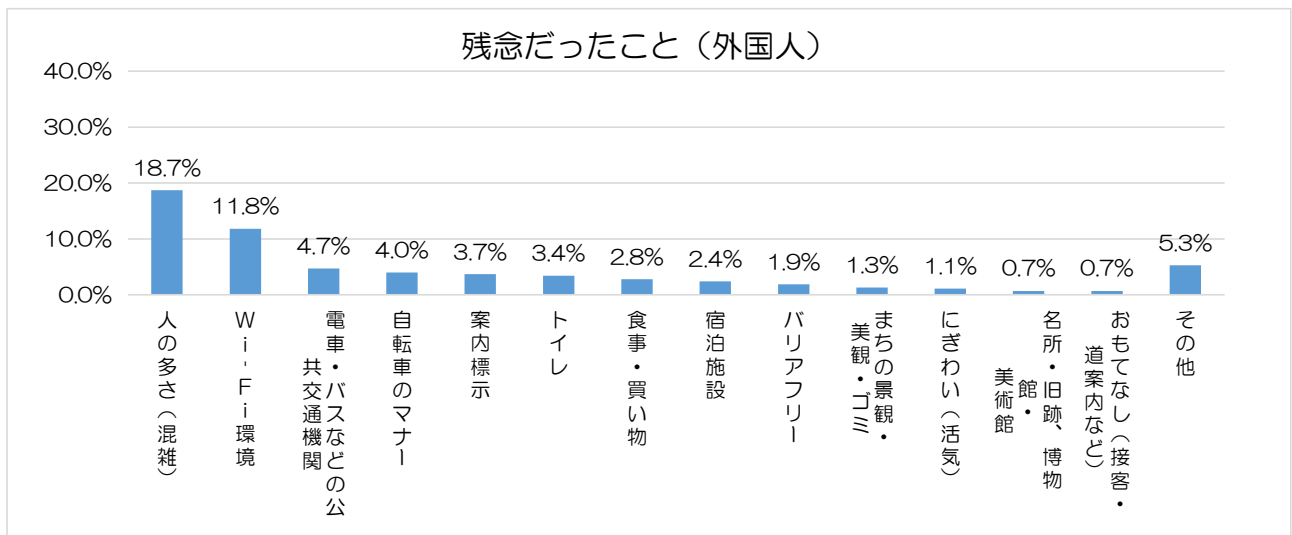


図3-5 残念だったこと (外国人)

回答数 902

8 地域や観光資源等の認知度・興味度

台東区内の地域や観光資源等の認知度・興味度を調査した結果が次の図のとおりである。

(1) 来訪者（日本人）

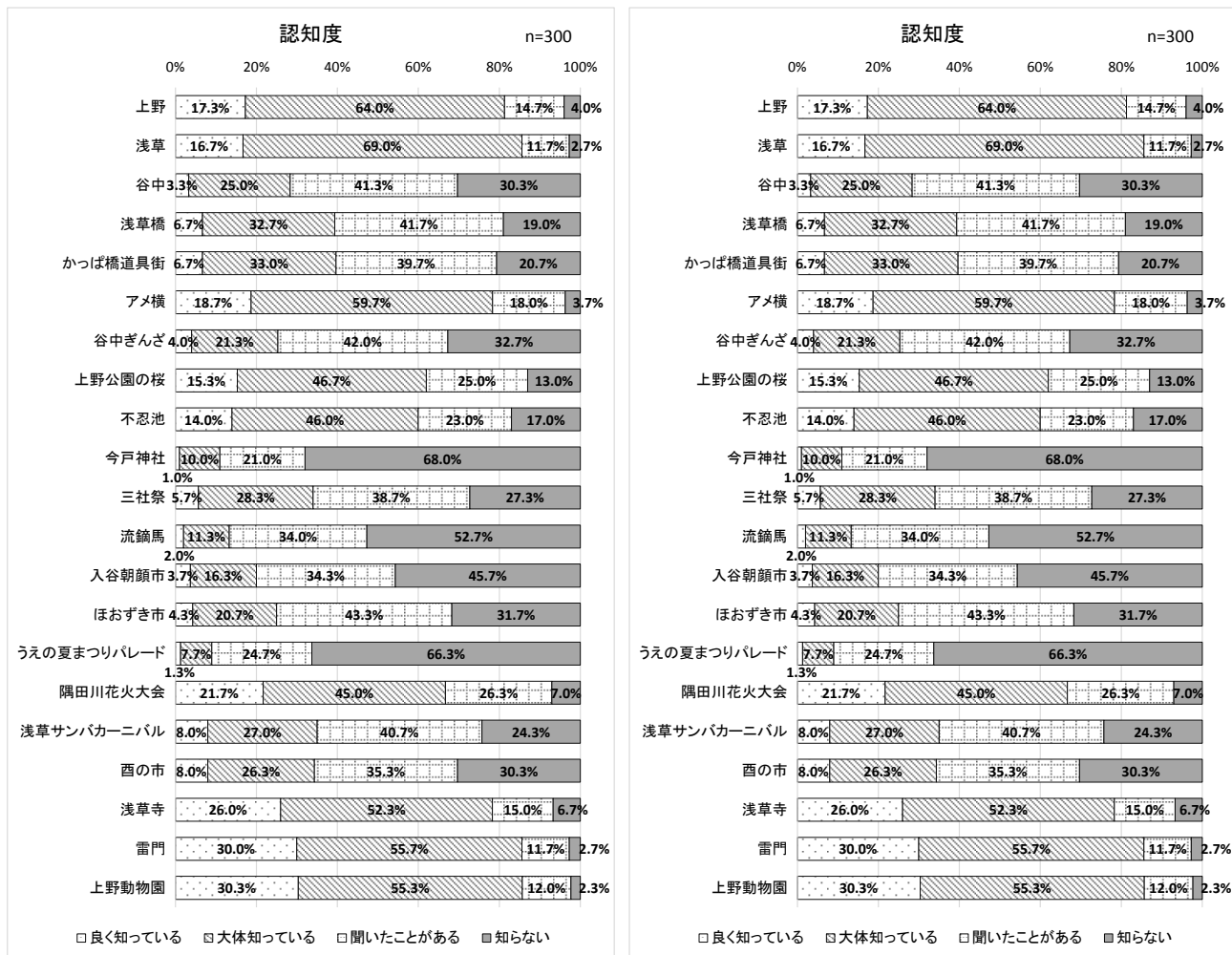


図3-6 各観光資源の認知度・興味度（日本人来訪者）

(2) 未来訪者（日本人）

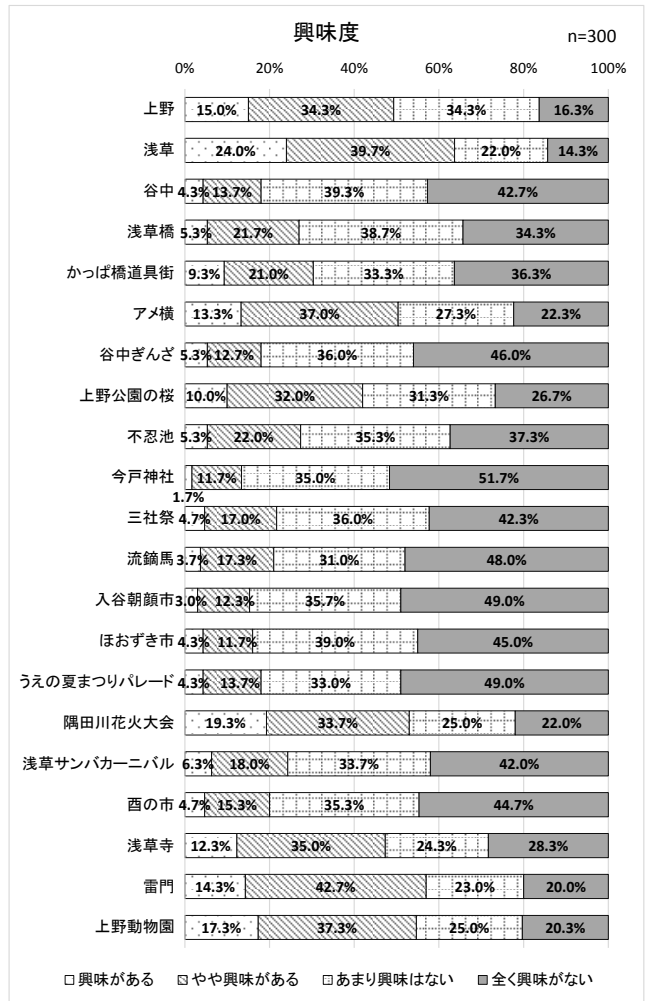
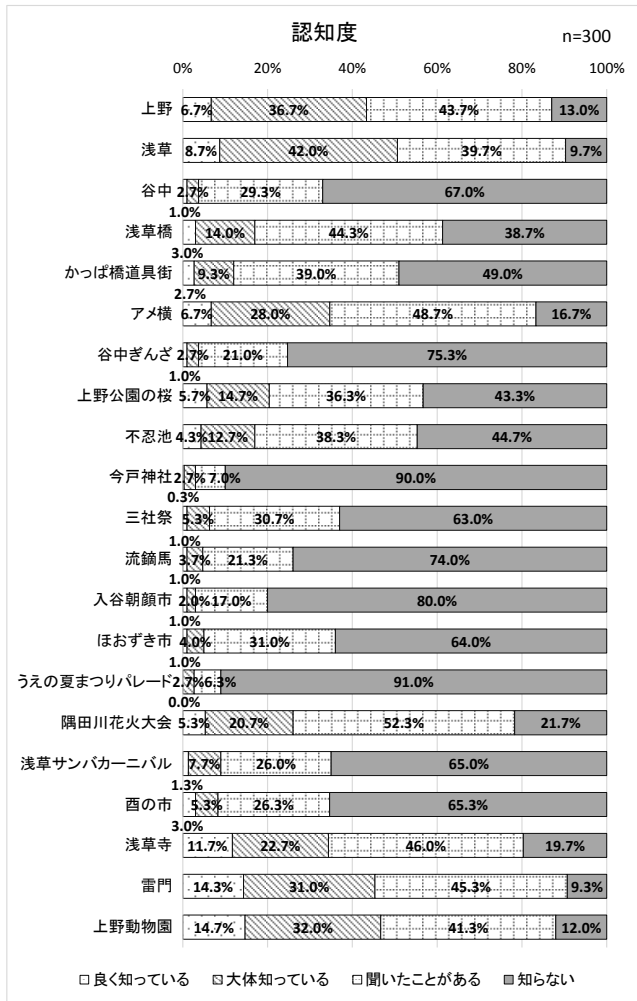


図3-7 各観光資源の認知度・興味度（日本人未来訪者）

(3) 来訪者 (外国人)

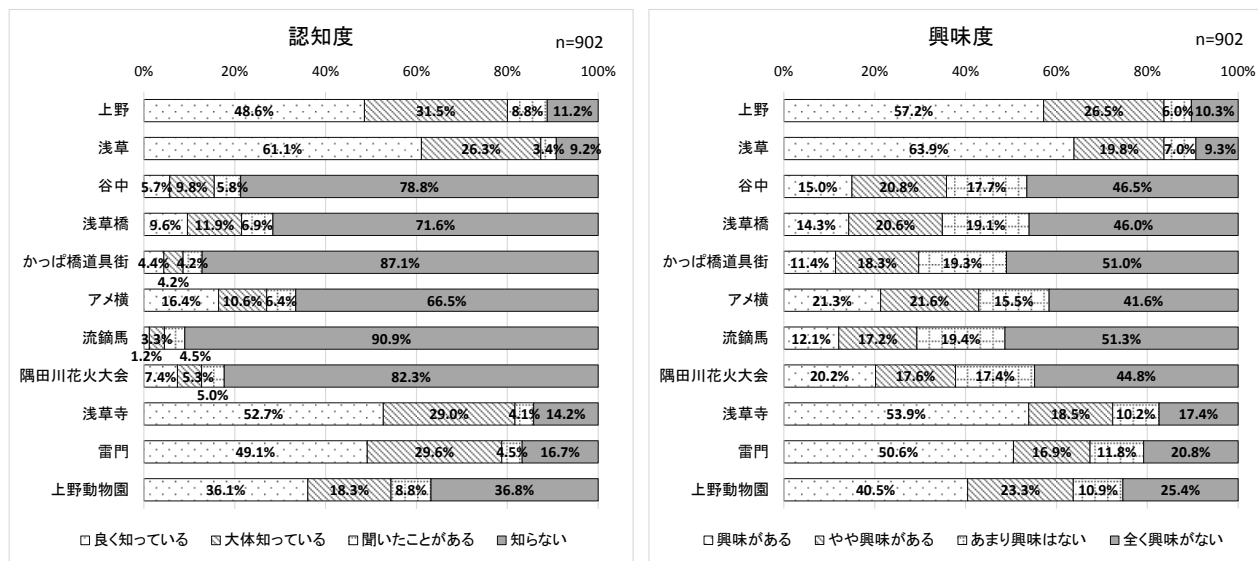


図3-8 各観光資源の認知度・興味度 (外国人来訪者)

(4) 未来訪者 (外国人)

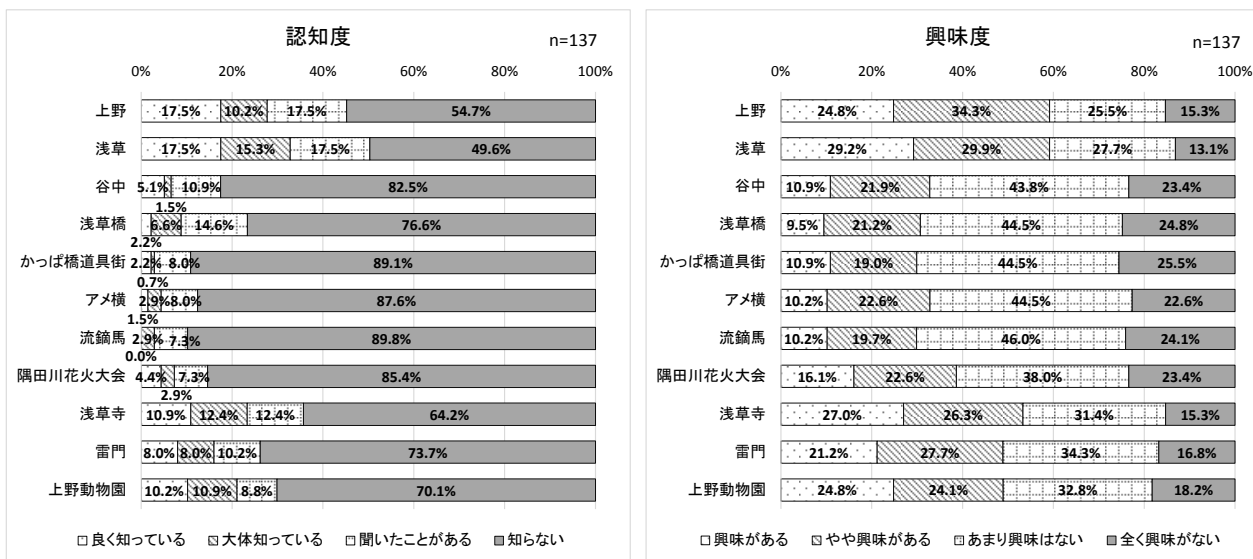


図3-9 各観光資源の認知度・興味度 (外国人未来訪者)

◆「日本人来訪者」と「日本人未来訪者」の比較

上野や浅草、雷門、上野動物園等の有名な観光地は、「よく知っている」と「大体知っている」を合わせた合計が来訪者 80%程度、未来訪者 40%程度と認知度が高くなっている。その他の観光地は来訪者・未来訪者ともに認知度が低くなっている。

イベントの認知度は、「よく知っている」と「大体知っている」を合わせた合計が来訪者では 40%未満、未来訪者では 10%未満のものが多いが、隅田川花火大会のみ認知度高くなっている（来訪者 66.7%、未来訪者 26.0%）。

興味度は、観光地・イベントともに来訪者の方が高くなっている。

◆「日本人来訪者」と「外国人来訪者」の比較

上野や浅草、浅草寺、雷門は「よく知っている」の回答が外国人の方が多くなっている。イベントの認知度では、隅田川花火大会は日本人と比べ外国人の方が低くなっている。

興味度は、ほとんどの観光地・イベントで外国人の方が低くなっている。

◆「外国人来訪者」と「外国人未来訪者」の比較

認知度、興味度ともに、すべての観光地・イベントで来訪者の方が高くなっている。

9 地域経済分析システム（RESAS）

地域経済分析システム（RESAS）を用いて台東区の観光に関する動向を把握した。

(1) 指定地域の目的地一覧

- ・2015年において「ナビタイム」を活用して検索した台東区の目的地一覧を確認した（出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」）。
- ・移動手段、平休日ともに、上野地区、浅草地区の観光地や宿泊地が検索されている。
- ・特に、浅草寺、上野動物園についてはすべての属性において多く検索されていた。

表 3-11 指定地域の目的地一覧

順位	自動車		公共交通機関	
	平日	休日	平日	休日
1	浅草寺	上野動物園	浅草寺	浅草寺
2	浅草ビューホテル	浅草寺	東京国立博物館	東京国立博物館
3	上野動物園	東京国立博物館	上野動物園	上野動物園
4	上野恩賜公園	浅草ビューホテル	雷門	雷門
5	伝法院	雷門	東京都美術館	東京都美術館
6	雷門	伝法院	東京合羽橋商店街	浅草ビューホテル
7	アメ横	上野恩賜公園	伝法院	東京合羽橋商店街
8	浅草花やしき	東京都美術館	東京文化会館	伝法院
9	ザ・ゲートホテル雷門	浅草花やしき	アメ横	浅草花やしき
10	国立科学博物館	アメ横	浅草花やしき	アメ横

(2) 宿泊者のFrom-to分析

- ・2015年において台東区内に宿泊した日本人来訪者の居住地を確認した（出典：経済産業省「観光予報プラットフォーム」）。
- ・東京都が227,351人（8.54%）と最も高く、次いで「大阪府」が211,522人（7.95%）、愛知県が180,489人（6.78%）であった。

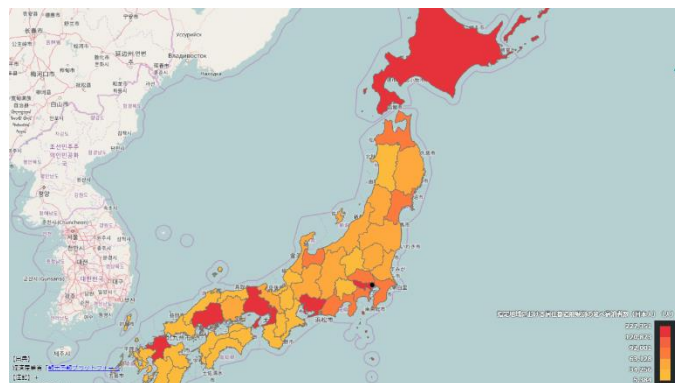
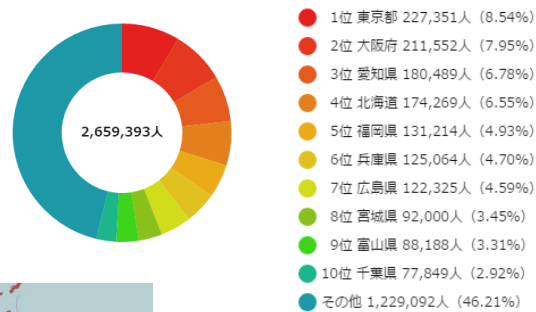
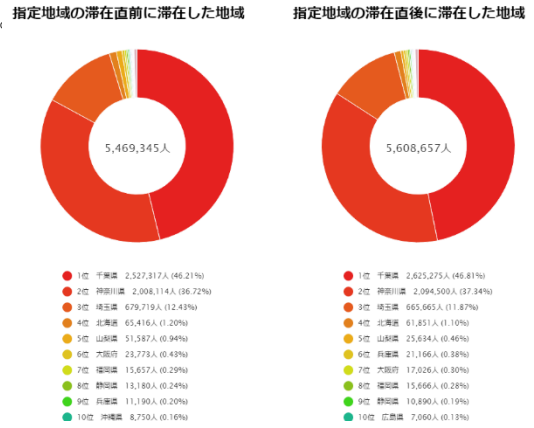


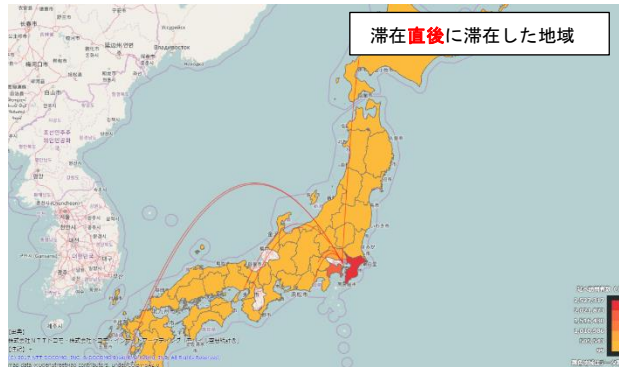
図 3-10 宿泊者のFrom-to分析

(3) 東京都への直前・直後の立ち寄り地域（都道府県単位）

- 都道府県単位でデータのみ公表されているため、2015年1-6月期において東京都への来訪した外国人の立ち寄り状況を確認した（出典：株式会社NTTドコモ・株式会社NTTドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」）。
- 直前と直後で人数の差があるものの、当該機関に東京都を訪れた外国人は約560万人である。
- その前後の来訪県は千葉県が約46%と最も高く、次いで、神奈川県が約37%、埼玉県が約12%となり、隣接県で95%の割合を占めた。
- 千葉県が最も高くなっている要因としては、成田空港の存在が考えられ、入国直後、出国直前に東京都に立ち寄っていることが推測される。



滞在直前に滞在した地域



滞在直後に滞在した地域

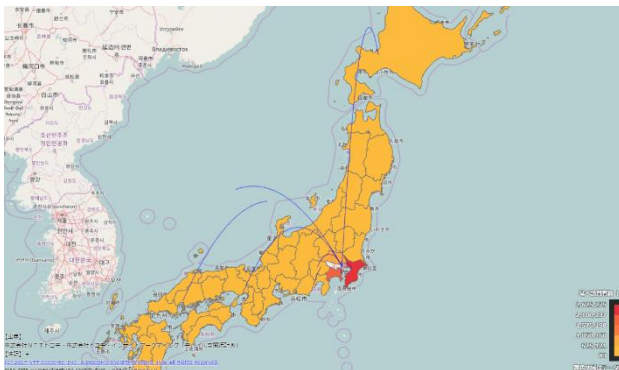


図3-11 東京都への直前・直後の立ち寄り地域（都道府県単位）

10 文献調査

(1) 調査方法

①調査対象国

調査対象国は、アジア地域は「韓国」、「中国」、「台湾」、「タイ」、「インドネシア」の5か国とし、北米とEUをまとめて「欧州」とした。

②観光資源の抽出

観光資源は、台東区公式観光情報サイトより「上野地区」、「浅草地区」、「谷中地区」の3地域に分割し、地域ごとに10か所の観光資源の抽出を行った。

抽出手順は以下の通りである。

- ・『ミシュラン グリーンガイド』と『ロンリープラネット』に記載をされている中から抽出
- ・上記に掲載はないが「トリップアドバイザー」の上位15位までに掲載のあるものを追加

③観光資源の評価

トリップアドバイザーの人気ランキングは、全世界から過去1年間に投稿された口コミ評価をもとに、独自のアルゴリズムで集計したものである(今回対象国以外の日本人の書き込みを含む)。各観光資源の評価方法は、以下の通りである。

- ・国別の評価は、書き込みで記載されている「言語」を「対象国」と想定して絞り込み
- ・トリップアドバイザーの「口コミ書き込み件数」と、「旅行者の評価(5:とても良い、4:良い、3:普通、2:悪い、1:とても悪い)」の5段階評価の平均点を算出、記載(2016年7月31日時点)
- ・各観光資源に対する対象国別コメントも記載した。記載したコメントは口コミ書き込み内容を要約して記載

(2) 調査結果

台東区の地域を表の左端に「上野地区」、「浅草地区」、「谷中地区」に分け、各地域の観光資源をトリップアドバイザー・ランキングの高い順に記載した。なお、抽出した各地区の観光資源数は以下のとおりである。

①上野地区

- ・観光資源数：13施設
- ・ミシュラン グリーンガイドに掲載：10施設
- ・ロンリープラネット掲載：11施設
- ・ミシュラン グリーンガイド、ロンリープラネットのいずれにも掲載なし：0施設
- ・トリップアドバイザー15位以内：7施設

②浅草地区

- ・観光資源数：10施設
- ・ミシュラン グリーンガイドに掲載：4施設
- ・ロンリープラネット掲載：5施設
- ・ミシュラン グリーンガイド、ロンリープラネットのいずれにも掲載なし：4施設
- ・トリップアドバイザー15位以内：6施設

③谷中地区

- ・観光資源数：4施設
- ・ミシュラン グリーンガイドに掲載：3施設
- ・ロンリープラネット掲載：4施設
- ・ミシュラン グリーンガイド、ロンリープラネットのいずれにも掲載なし：0施設
- ・トリップアドバイザー15位以内：1施設

表 3-12 文献調査結果

地域	観光資源	掲載のレベル			トリップアドバイザーの評価													
		Michelin Green Guide	lonely planet	トリップアドバイザー・ランキング	中国		韓国		台湾		タイ		インドネシア		欧米		対象国合計	
					書き込み数	平均点	書き込み数	平均点	書き込み数	平均点	書き込み数	平均点	書き込み数	平均点	書き込み数	平均点	書き込み数	平均点
上野地区	上野恩賜公園（上野公園）	★	Top Sight	4	151	4.4	50	4.3	142	4.4	110	4.3	36	4.3	1,768	4.3	2,257	4.3
	東京国立博物館	★★★	Highlight	5	52	4.4	11	4.3	49	4.4	10	4.5	1	3.0	697	4.2	820	4.2
	国立科学博物館		Sight	6	31	4.2	8	4.3	31	4.2	12	4.8	2	4.5	243	4.2	327	4.2
	国立西洋美術館	★	Sight	9	23	4.4	7	4.4	23	4.4	5	4.4	0		124	4.4	182	4.4
	アメヤ横丁	★	Sight	11	98	4.1	22	4.0	98	4.1	168	4.5	13	3.6	516	4.0	915	4.1
	上野動物園	見出し	Sight	12	51	4.3	15	3.7	50	4.3	24	4.4	5	4.2	931	3.9	1,076	3.9
	上野東照宮	★★	Sight	13	0		3	4.7	15	4.5	6	4.0	1	5.0	71	4.1	96	4.2
	不忍池	見出し		18	16	3.8	0		16	3.8	5	3.8	0		38	3.7	75	3.7
	旧岩崎邸庭園		Sight	19	0		4	4.0	6	4.3	1	4.0	0		18	3.9	29	4.0
	下町風俗資料館	★	Sight	20	0		3	4.3	23	4.4	1	4.0	0		78	4.4	105	4.4
	平成館（東京国立博物館）	★		21	0		2	4.5	0		0		0		45	4.4	47	4.4
	寛永寺 清水観音堂	見出し	Sight	26	0		2	4.5	1	3.0	6	3.8	0		22	4.0	31	4.0
	絵処アランウエスト		Sight	記載なし	0	0		0	0		0		0		0		0	—
	上野地区に対する評価 主な記載内容	/			本格的な日本文化を感じることができる。動物公園、博物館、寺院、屋台など広い年齢層に向く観光スポットがある。	上野公園内にあるスターバックスが人気スポット。アメヤ横丁は南大門と似ていて親近感がある。	多くのスナック、果物や野菜、化粧品、医薬品のすべての種類が安く販売されている。	エリアには、魅力的な博物館が多くある。公園の庭の美しさを眺めに加えて、ショッピングエリアに買い物に行き、より多くを楽しむ。	観光客を対象として販売している商品は非常に手頃な価格で靴、ハンドバッグ、アパレル、アクセサリーに至るまで非常に多様。	上野公園は、周囲に美術館と広大なオープンスペース、動物園があり、東京を理解し始めるのに良い場所。都市建築と自然のコントラストが美しい。	博物館、美術館、動物園等があり文化的な地区である。ショッピングエリアではリーズナブルな価格でお土産などが入手できる。交通の便も大変良い。							
浅草地区	浅草寺	★★	Highlight	2	258	4.3	37	4.1	228	4.3	207	4.4	57	4.1	2608	4.4	3,395	4.4
	雷門（仲見世通り）			3	55	4.4	4	4.0	54	4.4	16	4.4	16	3.9	290	4.2	435	4.2
	浅草神社			7	50	4.3	14	4.4	49	4.3	36	4.3	20	4.3	554	4.4	723	4.4
	浅草文化観光センター			8	54	4.3	5	4.4	54	4.3	34	4.5	7	4	244	4.5	398	4.4
	かっぱ橋道具街	★	Sight	10	32	4.5	9	4.3	32	4.5	11	4.3	6	4.2	345	4.3	435	4.3
	宝蔵門			15	5	4	4	4.5	5	4	13	4.5	3	4	36	4.4	66	4.3
	太鼓館	見出し	Sight	51	0		0		0		0		0		19	4.2	19	4.2
	アミューズミュージアム		Sight	36	0		0		0		1	5.0	0		16	4.5	17	4.5
	隅田公園（台東区側）	見出し		173	0		1	5.0	4	4.0	6	4.7	1	4.0	48	4.0	60	4.1
	鎮護堂		Sight	記載なし	0	0		0	0		0		0		0		0	—
	浅草地区に対する評価 主な記載内容	/			屋間の浅草寺、雷門は非常に活気があり、混雑したショッピング通り。	東京の代表的な寺院で、日本の伝統的な雰囲気を楽しむ方におすすめの場所。	浅草は素晴らしい浅草寺があり、川は非常に素晴らしい眺め。台所用品ショップの合羽橋は、一見の価値あり。	散歩中にレストラン、土産物店、レストラン、ベストリーショップがたくさんある。寺院は非常に美しい。	東京の観光客の主な目的地の一つで常に混雑している。市内中心部にある寺院だけでなく、お土産センターもある。	非常に美しく印象的な仏教寺院で多くの人々がいる。ショッピングエリアではお土産を取得するには良い場所がある。	日本の伝統美を感じる地区であり、お土産を入手するのに最適なショッピングスポットやグルメなレストランも多くある。							
谷中地区	谷中霊園	★★	Highlight	14	0		0		11	4.0	3	4.3	1	4.0	80	4.2	95	4.2
	谷中ぎんざ商店街		Sight	22	0		0		2	4.5	4	4.5	2	4.5	36	4.0	44	4.1
	朝倉彫塑館	★★	Sight	27	0		1	4.0	0		1	4.0	0		16	4.5	18	4.4
	スカイ・ザ・バスハウス	見出し	Sight	94	0		0		0		0		0		3	3.7	3	3.7
		谷中地区に対する評価 主な記載内容	/			本地域に関する書き込みは存在せず	日暮里駅から遠くない。昔に比べて建物がきれいになり、博物館のあちらこちらで宝物を発見する楽しみがある。	新宿やその他のテンポの速い都市と異なり、ここはゆっくりとしたペース。店頭ドアや屋根の猫の彫刻が多く、異なる文化を感じることができる。	落ち着いた感じの雰囲気である。活気のある街。時間に余裕がある人、猫が好きな人にはお勧め。	谷中は東京の騒音や喧騒から離れ、景観の美しさと静けさを楽しむことができる。	静かなエリア、美しい墓、そして大きな公園に野生動物がたくさん。ゆっくりとしたペースで歩くのは楽しい。	素朴で、静かな落ち着いた環境にあり、散歩に良い。						
全体評価 所見	/			日本文化を感じる観光・芸術スポットやショッピングスポットも多い。	お土産に最適なショッピングスポットが多くあり、グルメなレストランや屋台なども多数ある。	銀座、六本木等と異なった庶民的な良さがあり、上野・浅草界隈をまとめて観光でき、交通の便も良い。	混雑してはいるものの、落ち着いた感じの日本の伝統美を感じる。お土産のショッピングスポットも多々あり、交通の便も良い。	清潔な環境にあり、ショッピングは安価で経済的なところもある。交通の便も良い。	伝統美を感じるスポットが多々あり文化的な地区と感ずる。お土産に最適なショッピングスポットが多くあり、交通の便も良い。	日本の文化や伝統美を感じる文化的な地区である。ショッピングスポットも多々あり中には安価に入手できる場所もある。グルメなレストランや屋台なども多数あり大変美味しい。交通の便は大変良い。								

※表中のトリップアドバイザー・ランキングで1位が存在しない理由は、1位が「浅草」となっていて、浅草寺を中心としたエリアが対象となっているため観光資源を特定できないため除外したためである。

※トリップアドバイザーの評価欄は調査方法で記載したとおり、口コミ書き込みの言語から国を推測し、口コミ書き込み件数と旅行者の評価の平均点を記載した。なお、口コミ書き込み件数がゼロの観光資源については旅行者の評価がないため、点数欄は空白となっている。

